



ゆいがおか文庫



2023年度前期(1) 新規購入図書のご案内

まだまだ購入図書のリクエスト受付中、文庫の受付箱に投函して下さい

小説

尚、【赫々／かくかく】たれ 立花宗茂残照 羽鳥 好之

関ヶ原が戦場となったのは重なる偶発の結果だった!? 立花宗茂は将軍家光から“天下分け目”に関して考えを述べるよう命じられる。神君家康を軽んじる失言をすれば、将軍の勘気に触れる。だが真実を話さねばなるまい……天下無双と呼ばれた男の矜持が輝く歴史長篇

街とその不確かな壁 村上春樹

十七歳と十六歳の夏の夕暮れ……川面を風が静かに吹き抜けていく。彼女の細い指は、私の指に何かをこっそり語りかける。何か大事な、言葉にはできないことを——高い壁と望楼、図書館の暗闇、古い夢、そしてきみの面影。自分の居場所はいったいどこにあるのだろう。村上春樹が長く封印してきた「物語」の扉が、いま開かれる。

塞王の楯 今村 翔吾

第166回直木賞受賞作】どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説!

流人道中記 (上下) 浅田次郎

万延元年(1860年)。姦通の罪を犯した旗本・青山玄蕃に奉行所は切腹を言い渡す。だがこの男の答えは一つ。「痛えからいやだ」。玄蕃は蝦夷松前藩へ流罪となり、押送人の見習与力・石川乙次郎とともに奥州街道を北へと歩む。口も態度も悪い玄蕃だが、道中行き会う事情を抱えた人々を、決して見捨てぬ心意気があった。この男、本当に罪人なのか?

しろがねの葉 千早茜

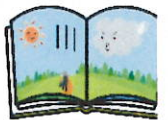
第168回直木賞受賞作! 男たちは命を賭して穴を穿つ。山に、私の躰の中に—— 戦国末期、シルバーラッシュに沸く石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは……

実用書

結局自律神経がすべて解決してくれる 新しい皮膚の教科書 歩きながら考える

人は話し方が9割 家事は大変って気づきましたか?

前向きに生きることに疲れたら読む本 お金が貯まる人はなぜ部屋がきれいなのか



以下は子ども書棚新刊コーナーにあります

もっと! ほんとのおおきさ水族館 将棋の渡辺くん 1~6 1まいのがようし

きみのことがだいすき さかなはさかな

もうじきたべられるほく 4さいのふしぎがわかるよ